

日本の未来を寄付で発展させるための

戦略ロードマップ

～新たな時代のエコシステムをみんなで作るために～

Ver.0.1

2022年2月15日

アジェンダ

1. はじめに
2. 戦略ロードマップ
3. 詳細解説・用語解説等
4. おわりに

1. はじめに

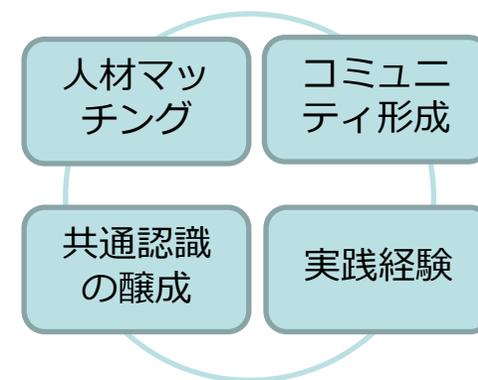
(1) 現状認識

非営利セクター全体にファンドレイジングという概念が定着しつつあり、准認定・認定ファンドレイザーの有資格者やファンドレイジングスクールの卒業生などファンドレイジングの基礎知識を備えたファンドレイザー人口が増えてきている。同時に、他セクターからの関心の高まりや資格取得も増えているが、実践経験を積める機会が限られていたり、NPO職員になる以外の活躍の範囲がまだ少ないことも実情である。プロボノや外部支援者としての活躍が期待されるが、実践経験の少ない希望者を受け入れられる体力のあるNPOが多くないことも活躍の機会が限られる理由として挙げられる。

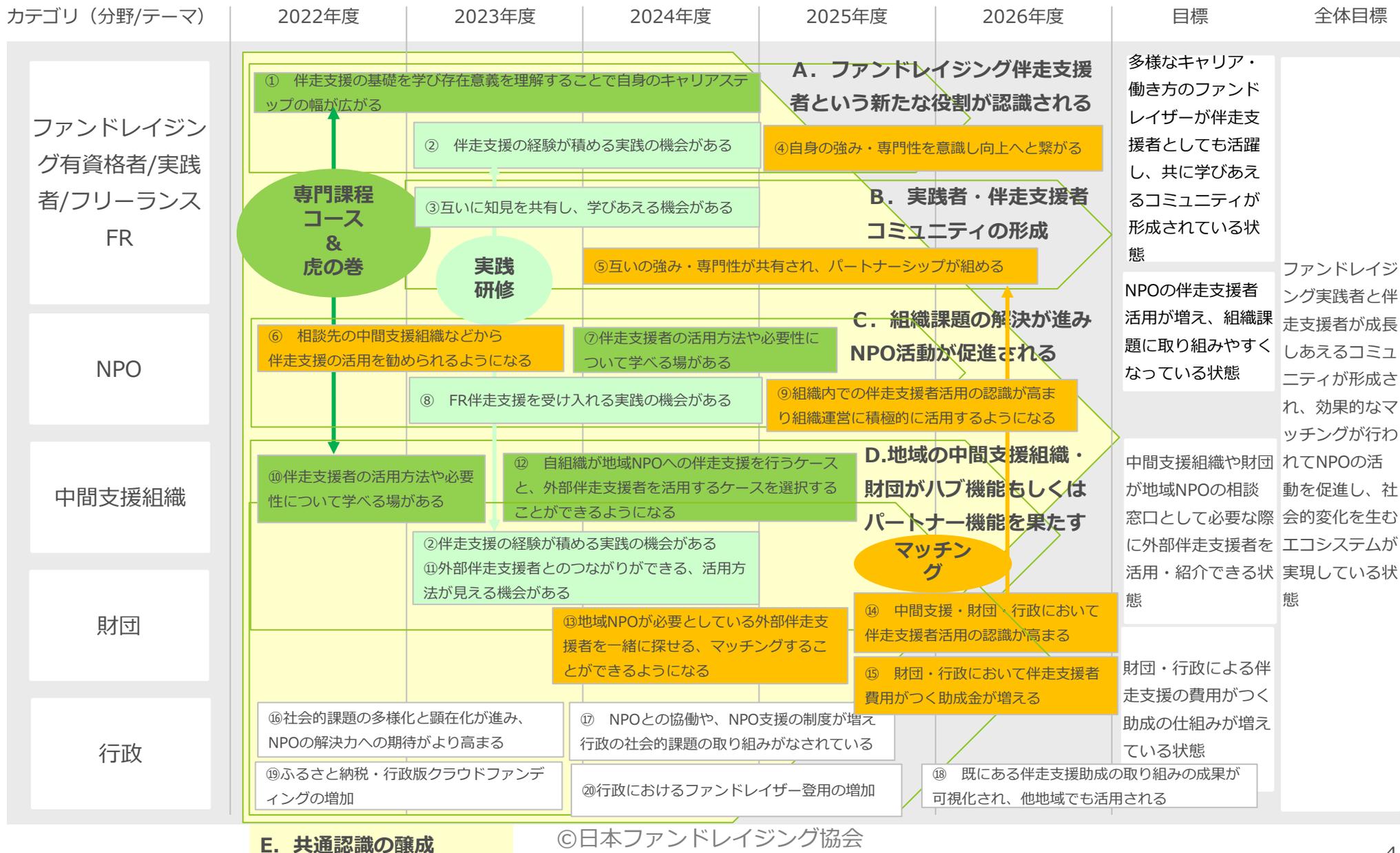
また、ファンドレイジング強化に取り組みたいNPOは確実に増えているが、誰に何を相談したらよいかわからない、ファンドレイザー採用や育成に不安がある、採用にかかる費用が捻出できないなどまだ課題が多くあり、人材のマッチングにも複数のハードルがある。

(2) サマリー 上記のような現状を変えてNPO活動をより推進し、非営利セクター全体の底上げを図るために

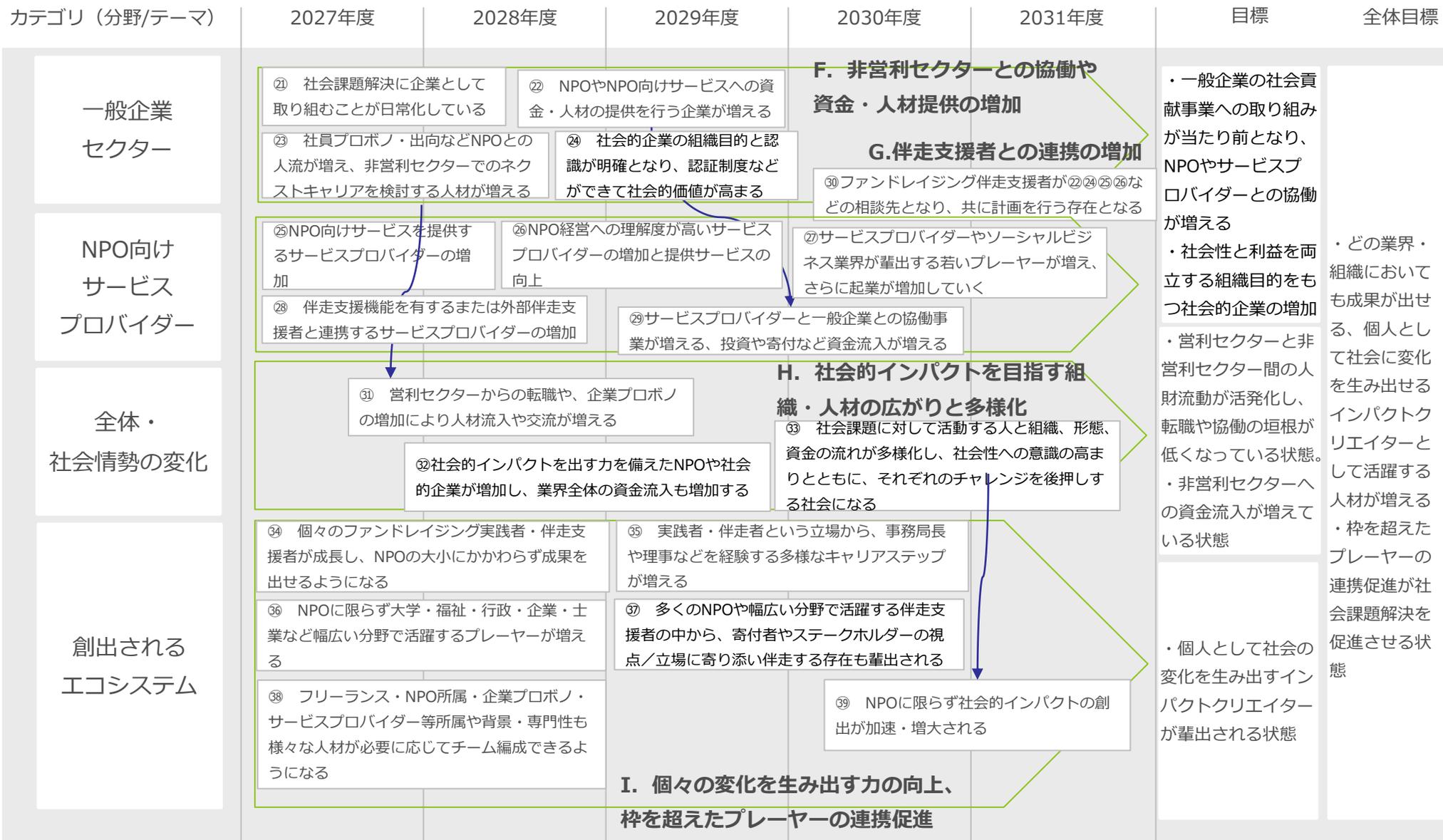
- ・ NPOとファンドレイザー（ファンドレイジング有資格者/実践者/フリーランスファンドレイザー等）がファンドレイジング伴走支援という外部支援の役割を共通認識として持ち、受け入れ側、伴走者側それぞれの実践経験を持つことで有効性を体験する必要がある。
- ・ NPOの相談先であり、伴走者としての側面も持つ中間支援組織や財団とも上記の共通認識を共有し、人材マッチングのハブ存在となることが理想と思われる。また活用できる人材のデータシステムも必要となる。
- ・ ファンドレイジング実践も伴走支援もケースによって多様な対応力や広い専門性を要することがあるため、個々のプレイヤーが知見を共有し、学びあえるコミュニティ形成がされることを目指す。



2. 戦略ロードマップ (1/2)



2. 戦略ロードマップ (2/2)



3. 詳細解説・用語解説等 (1/2) ロードマップ1ページ目

ファンドレイジング実践者・有資格者・フリーランスファンドレイザー/NPO/中間支援組織/財団を主要なステークホルダーとして挙げ、NPO組織がより活躍し社会課題解決が促進される未来に向けて、より多様な人材の流入と活躍が期待されるファンドレイジング伴走支援という存在が、どのように**ステークホルダー**と連携をしていくかについて表現した。

●2026年までの全体目標

『ファンドレイジング実践者と伴走支援者が成長しあえるコミュニティが形成され、効果的なマッチングが行われてNPOの活動を促進し、社会的変化を生むエコシステムが実現している状態』

ここを目指すために、主要なステークホルダー間で共通認識の醸成が行われていることが重要だと考え、この5年間はその具体的アクションとして専門課程コースや実践研修、虎の巻作成を計画している。

●具体的アクション

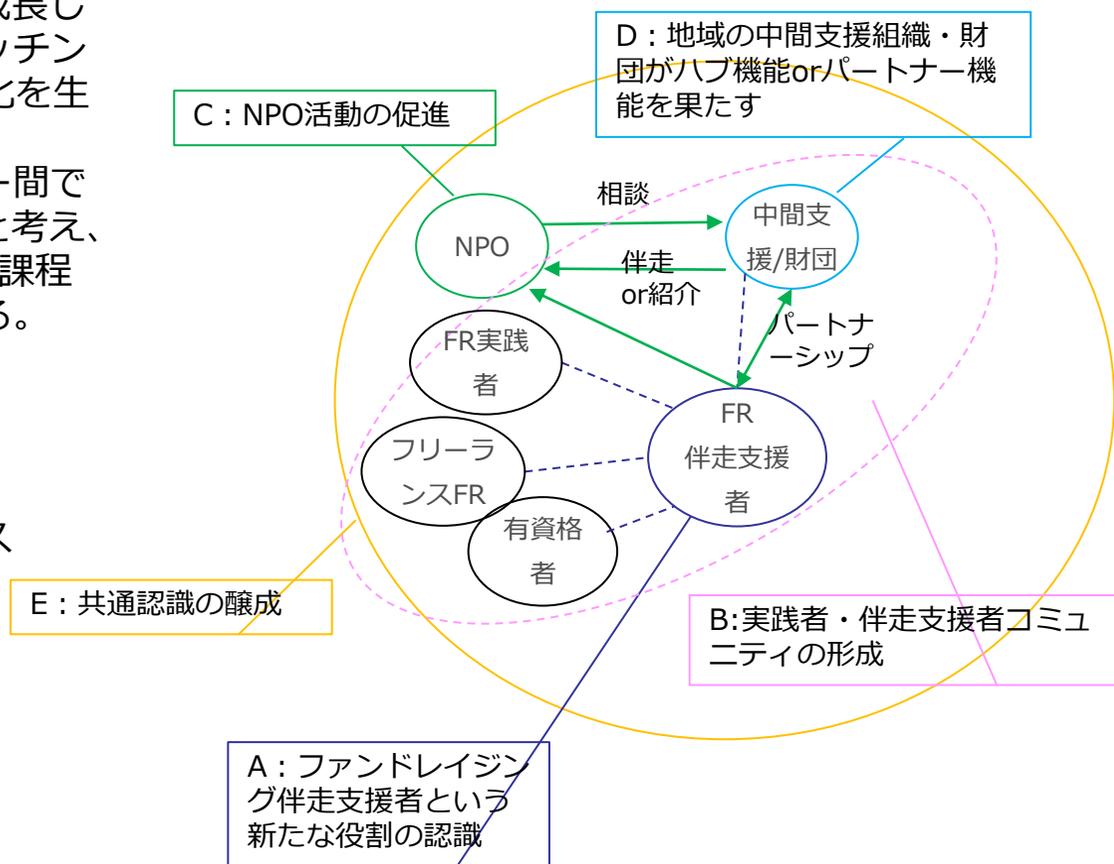
共通認識の醸成

実践経験

- ・ファンドレイジング伴走支援専門課程コース
- ・ファンドレイジング伴走支援虎の巻

コミュニティ形成

- ・実践者/伴走支援者コミュニティの形成



3. 詳細解説・用語解説等 (2/2) ロードマップ2ページ目

1ページ目のステークホルダーに加えて一般企業・NPO向けサービスプロバイダーを追加し、営利・非営利のセクターを超えた多様な人材の交流と資金流入への期待と、それが起こるために主要なステークホルダー（ファンドレイジング実践者・有資格者・フリーランスファンドレイザー/NPO/中間支援組織/財団）間から生み出された拡大したエコシステムに起こる未来についての表現を目指した。

●2031年までの全体目標

『どの業界・組織においても成果が出せる、個人として社会に変化を生み出せるインパクトクリエイターとして活躍する人材が増える／枠を超えたプレイヤーの連携促進が社会課題解決を促進させる状態』

<用語解説>

インパクトクリエイター：業界や所属組織に関わらず、社会的インパクトを創出できる個人のこと

<事例紹介>

⑰伴走支援者費用を出している助成金事例

- Panasonic NPO/NGOサポートファンド for SDGs

https://www.panasonic.com/jp/corporate/sustainability/citizenship/pnsf/npso_summary.html

- クラウドファンディング伴走支援助成金

<https://congrant.com/jp/news/20210228.html>

⑰⑳伴走支援者費用を出している行政事例

- 京都府地域交響プロジェクト専門家派遣事業

https://www.pref.kyoto.jp/chiikikokyo/senmonka_ichiran.html

⑰㉓活用可能性のある制度

- 企業版ふるさと納税（人材派遣制度）

https://www.chisou.go.jp/tiiki/tiikisaisei/portal/pdf/R021013_jinzaigaiyou.pdf

㉔社会的企業の認証制度事例

- 米国の社会的企業の認証制度～B Corporation と Benefit Corporation

https://www.jabes1993.org/article_2020.1_hayashi.pdf

㉗サービスプロバイダーと一般企業との協働事例

- Giving100 by Yogibo

<https://congrant.com/jp/yogibo/>

4. おわりに

(1) 本ロードマップの特徴

・ 皆さまの声で進化を続けます！

このVer.0.1の公開をキックオフとし、今後も様々なダイアログ・対話の場を設けながら皆さまの声をいただき、どんどん進化・発展させていきます。

・ オール・ジャパンで実現を目指します！

本ロードマップは、日本ファンドレイジング協会のみが実現させていくロードマップではありません。多くの方々がロードマップの描く未来に共感し、それぞれのお立場で実現に向け動き出していられることを強く望み、オール・ジャパンで実現していきます。

(2) ご意見を募集しています！

下記のgoogleフォームより、ご意見・ご感想などをお寄せください。

<https://forms.gle/CuS9WoxSL1RfNMXq7>

(3) コンタクト・パーソン

・ 浅井 美絵 (フリーランスファンドレイザー)

mieasai@gmail.com

・ 河合 将生 (NPO組織基盤強化コンサルタント office musubime 代表)

kawai.masao@musubime.org

